

## 市長との対話集会開催記録

団体名	・ NPO 法人次世代健全育成サポート あひるっこ ・ 特定非営利活動法人健全育成 おひさま	実施日	令和6年4月22日（月）
実施場所	陽だまりハウス	参加人数	13名

### 【主な内容】

- ・ こどもまんなか社会に向けて  
（児童館の在り方について）



### 【対話内容（抜粋）】



参加者

児童館は、18歳未満のこどもを対象にしている、自由に集まって遊んだりゲームをしたりすることで様々なことを学んでいます。遊びを通して地域の方や異世代との交流を深めることができるので、身近に感じてもらえる居場所になっています。北名古屋市には学区ごとに児童館があって、どこにでも行くことができるので、選択肢の多さも魅力的です。

こういった子育て環境は、北名古屋市の自慢できる場所だと思います。

現在の北名古屋市の財政状況は厳しい状態にあります。扶助費の増加、公共施設の借地、公債費の高止まりが要因となっています。公共施設の借地を支払いながら、建物を維持管理して運営していくのは、財政的に負担が大きいです。

また、公共施設の老朽化が進んでいますが、児童館も例外ではありません。このため、施設の今度のあり方を検討していかなければならない状況です。



市長



参加者

例えば、子育て関係の施設だと民間が運営することで、国や県の補助金が活用できる場合もあるので、財政的負担を軽減する方法はあると思います。

また、児童館と高齢者施設の機能を統合するなど、複合的な施設にしていくと経費を抑えられるのではないのでしょうか。

複合的な施設になると、世代間の交流が生まれ、お年寄りと子どもが互いに触れ合うこととなります。お年寄りの活力が高まったり、子どもたちの思いやりの心を育てることができるようになり良い効果も出てくると思います。

児童館や高齢者施設、保育関係など、様々な機能を統合できる可能性があるもので、本日頂いたアイデアを参考に検討を進めていきたいです。



市長